

第 29 回日本語教育連絡会議プログラム

2016 年 8 月 26 日、27 日

Andricgrad (アンドリッチグラード)、Andricev institut (アンドリッチ研究機関)

【8 月 26 日 (金曜日)】

08.30 – 09.00	継承日本語クラスにおける気になるあの子 2 若井誠二 (ハンガリー、カーロリ・ガーシュパール大学)
09.00 – 09.30	実践報告—ヨーロッパにおける継承日本語教育のネットワーク構築を目指して 根元佐和子 (フランス、パリ南日本語補習校)
09.30 – 10.00	JFBP のオンライン日本語教師ネットワークの育成 村上吉文 (ハンガリー、国際交流基金)
10.00 – 10.30	休憩 : 30 分
10.30 – 11.00	人と人をつなぐ学習環境のデザイン～伝統文化の授業を例にして 森下雅子 (日本、早稲田大学日本語教育研究センター)
11.00 – 11.30	情報革命と日本語学・再考 蓮沼啓介 (日本、神戸大学名誉教授)
11.30 – 12.00	認識的モダリティの婉曲用法—カモシレナイとヨウダ・ミタイダー 蓮沼昭子 (日本、創価大学文学部)
12.00 – 13.00	昼食 : 60 分
13.00 – 13.30	他者評価が学習ビリーフス再構築に与える影響 稲葉和栄 (日本、女子美術大学)
13.30 – 14.00	グローバル人材育成と日本語教育 鈴木洋子 (日本、昭和女子大学)
14.00 – 14.30	東京新聞日曜社説に見られる普通体と丁寧体の混用について 砂川有里子&マダドナーめぐみ (日本&オーストリア、ウィーン大学)
14.30 – 15.00	休憩 : 30 分
15.00 – 15.30	理系修士の留学生が日本企業のインターンシップに参加するには 袴田麻里 (日本、静岡大学国際交流センター)
15.30 – 16.00	不平不満 : opting out Strategy の使用頻度と... 川手 Mierzejewska 恩 (日本) & 深沢清治 (広島大学)
16.00 – 16.30	日本語教育における文章研究の新展開 李在鎬 (日本、早稲田大学 日本語教育研究科)
16.30 – 17.00	学生は日本語講座に何を求め、何を實現したのか—サスカチュワン大学の日本語講座を一 例に— クラスナイいづみ (カナダ、サスカチュワン大学)

17.00 – 17.30	休憩：30分
17.30 – 18.00	「まるごと 日本のことばと文化」を使った初級クラスにおける日本語教育の試み ヨフコバ四位 エレオノラ（日本、富山大学）
18.00 – 18.30	試行版「漢字系統樹 2800 解字」 善如寺俊幸（日本、言語教育研究所、元東京外国語大学）
18.30 – 19.00	プロジェクトワーク～自分が伸ばしたい技能を伸ばすには？～ 数原麗香（ドイツ、ルール・ボーフム大学日本学科）
19.00 –	夕食

【8月27日（土曜日）】

09.30 – 10.00	ゴンザの新スラヴ日本語辞典の重複みだし語について いぬかいいて
10.00 – 10.30	”伝える”ための発音指導 中野二郎
10.30 – 11.00	漢字音の長音教材－中国語母語話者と非母語話者を対象に（仮） 黒沢晶子（日本、Institute of Arts and Sciences, Yamagata University）
11.00 – 11.30	休憩：30分
11.30 – 12.00	ドイツ語話者日本語学習者話し言葉コーパスに現れる学習者の発話特徴について 村田 裕美子（ドイツ、ミュンヘン大学）
12.00 – 12.30	中級前半学習者を対象とした日独オンライン・タンデム・プロジェクトの課題 浜津大輔（ドイツ、ハレ・ヴィッテンベルク大学）
12.30 – 14.00	昼食、写真撮影：90分
14.00 – 14.30	ドイツ語圏のサブカルファンと日本語学習 高島慶子（ドイツ、ミュンヘン、マクシミリアン ギムナジウム）
14.30 – 15.00	日本語教育学会の「中・長期的研究課題」について 砂川裕一（日本）
15.00 – 15.30	「だけのことだ」の特徴 中西久実子（日本、京都外国語大学）
15.30 – 16.00	休憩：30分
16.00 – 16.30	ジャパンボウル大会の開催 神尾りさ（ボスニア、サラエボ大学）
16.30 – 17.00	セルビアの漢字の学習に関して Ljiljana Markovic & Divna Trickovic（セルビア、ベオグラード大学）
17.00 – 17.45	全体会議・閉会
19.00 –	懇親会